



公共事業の円滑な推進および生活再建の 実現に寄与する補償コンサルタントの使命

公共事業にともなう測量設計や補償コンサルティングを行う、(株)公共用地補償研究所は、昭和47年の設立以来、着実に業務を積み重ね、信頼を築いてきました。同社の経営理念について芳村蔵社長にうかがいました。

「私

同社応接室に飾られた、経営理念や経営目的

どもの業務は、ほとんどが官公庁関係のものです。それだけに、しっかりと仕事の積み重ねが大切です」と話す芳村社長。社員のほとんどが技術職で、群馬県に支社、茨城県に関連会社があります。補償コンサルタントとは耳慣れない言葉です。道路工事などの公共工事にもない、民間の土地や建物を取得するなどの必要が生じた場合、それに対する補償が必要になります。所有

者や借家人など、関係する人たちに対する損失補償などの業務を、国や地方公共団体などから請負うのが「補償コンサルタント」です。地域住民の方々にとって公共事業に対する理解はさまざまですが、安心して安全な社会資本整備は、公益に資するものであり、地域社会の発展に貢献する。それが、補償コンサルタントなのです。

「私が父から会社を」県を中心に業務を拡大しています。現在の経営理念は、芳村社長が会社を継いだ頃に定めたそうです。県を中心に業務を拡大しています。現在の経営理念は、芳村社長が会社を継いだ頃に定めたそうです。

引き継いだのは、13年前です。その後、さまざまな社会経済の変動を経験しましたが、しっかりと仕事を広げ信頼をいただき、栃木・群馬・茨城の北関東三県を中心に業務を拡大しています。社員から問題を上げさせ、それを解決するにはどうしたらいいか、という話し合いも、定期的に行っているそうです。「経営理念や経営目的は、我々の存在価値を明確にしたものであり、社員とともに共有できるものでなくてはなりません」常に社員と向き合うことで、自分を振り返ることができ、自己の成長につながると捉えています。

「これからの課題は、コミュニケーション能力の向上ですね。人を育てることで、会社も大きくなります。今後も、官公庁のよきパートナーとして、着実な仕事を提供していきたいと考えています」



本社前に設置された、創立30周年記念碑



本社社屋

経営理念

互いが互いを理解し、相互補完・相互信頼の価値を創造する。出逢うものを通して、新たな自己を発見し、自分にとっての真の価値を知り、私自身に主体的自立を確立する。厳愛の統合・「三方よし」の志を旨とする。

Information

株式会社 公共用地補償研究所
代表取締役 芳村 蔵
設立/昭和47年
所在地/宇都宮市今宮2-13-12
☎ 028-658-2797
☎ 028-659-3974
http://www.kohken.com



株式会社公共用地補償研究所
代表取締役 芳村 蔵 氏